



核兵器のない世界を 北区議団が 広島を視察

日本共産党北区議員団は、12月5日、6日の両日、広島県を視察しました。初日は広島市で、核兵器禁止条約が国連で採択された下での核兵器廃絶をめざす

運動について、2日目は尾道市で、NPO 法人による空き家再生のとりくみについて、それぞれお話しをうかがってきました。(のの山けん)

世界を動かした被爆者の運動

広島県原爆被害者団体協議会

被爆地広島の被団協事務所を訪ねました。

国連では今年、核兵器を違法なものとし、その禁止と廃絶

を求める核兵器禁止条約が圧倒的多数の賛同

で採択されました。これについて大越和郎事

務局長は、「被爆者として初めて提起し、力

を入れてとりくんできたヒバクシャ国際署名

の運動が条約制定の機運を生み出した。IC

ANのノーベル平和賞受賞とともに、大いに

確信となる動きだ」と語りました。

一方で、条約を認め

ない日本政府の態度や原告の訴えを退けた被



爆者認定訴訟・広島地裁判決などの課題も。

「空き家×？」で生まれるのは

NPO法人尾道空き家再生プロジェクト

瀬戸内海に面し、坂

と路地が織りなす風景

が特徴の尾道市。戦災

や災害にもあわず、昔ながらの家屋が多く

残っており、空き家も増えています。

NPO法人空き家再生プロジェクトは、市や宅建業界とも連携し、「空き家×？」と銘



空き家再生についてのヒアリング

被爆者の悲願である核兵器廃絶へ、さらに運動を強化することを決意しました。

打って、改修工事による空き家の再生、空き家バンクを活用した入



空き家を活用したNPOの事務所

居者の紹介、空き地再生ピクニック、空き家再生チャリティイベントなど、ユニークで多彩な活動を展開しています。

夫とともにNPOを立ち上げ、尾道じゅうを自分の足で歩いて空き家を探してきたという豊田雅子代表の「いちばん大事にしているのはコミュニティ。人が住まないと町は生きてこない。だから若い人たちに再生した空き家を紹介するんです」という言葉が、とても印象的でした。

演劇

戦争を乗り越える連帯

イツフォーリーズ 「青空の休暇」

日米開戦の奇襲作戦として知られる真珠湾攻撃。かつて日本兵として爆撃に加わった3人の日本人と、撃沈された戦艦に乗り合わせ、今もその体験を若者に語り継ぐアメリカの元軍人が、50年後のハワイで出会うところから物語は始まる。

かつて敵味方に分かれて戦った相手同士、どう接したらよいか分からず、気まずい空気が漂う。そんな時、日系二世の牧場主が隠していた戦争時の不時着機の存在が明らかに。通訳のケイトとレストラ



ンを営む母、元軍人の日本人妻などの協力も得て、平和のために、もう一度、飛行機を青空に飛ばそうと意気込む4人だったが…。

日本が「大勝利」と歡喜した作戦の裏では数千人の米兵らが犠牲となった。戦争に勝利も敗北もなく、あるのは恐怖と破滅のみだ。なぜ敵国の女性と結婚したのかと聞かれた元軍人の答えは、「妻を愛している。私は妻と戦ったのではない」。そう、その通りだ。

戦争を乗り越える連帯で、敵対が友好に変わるラストは感動的。

映画

覆せない「真実」の重み

「否定と肯定」(ミック・ジャクソン監督)

レイチエル・ワイズ演じるユダヤ人の歴史学者は、膨大な資料を基に「ホロコーストの真実」を著した。ところが、批判された歴史学者のアーヴィングが名誉棄損で提訴。英法廷において、「大量虐殺は本当にあったのか」が裁かれることになり、実話である裁判の過程と結末が大きな



見どころとなっている。ネオナチに限らず、「南京大虐殺はなかった」、「従軍慰安婦は

でつちあげ」など、歴史修正主義の主張は巷に溢れている。最近では、モリ・カケ問題で次から次へと新しい証拠が出るのに、言を左右に事実を認めようとしない日本の首相も、これに加えるべきか。

「『プレスリーは死んだ』を議論しても仕方がない。事実を動かさない」と高をくくって。映画の製作自体がグッドジョブだが、いささか堅苦しい表題にも拘わらず、多くの観客が詰めかけていたことにも希望を感じた。

憲法9条改憲NO!

日本共産党区議団&池内前衆院議員 3000万人署名をよびかけ



9日、北とぴあで日本共産党北地区委員会が主催する憲法問題学習会が開かれ、しんぶん赤旗の中祖寅一記者が講演。終了後は、日本共産党区議団と池内さおり前衆院議員らが王子駅北口で、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」をよびかけました。(のの山けん)